

2016年9月23日
株式会社日立製作所

金融機関システムとFinTech サービスのセキュアなデータ連携を実現する 「金融 API 連携サービス」を販売開始

ID やパスワードを FinTech サービス上に登録することなく預金口座残高などのデータ連携を実現

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO: 東原 敏昭/以下、日立)は、金融機関のシステムと、FinTech^{*1} サービス企業が主にクラウド上で提供する個人資産管理サービスや会計サービスなどの FinTech サービスの、セキュアなデータ連携を実現する「金融 API^{*2} 連携サービス」を、国内の金融機関向けに9月26日より販売開始します。

金融機関は本サービスを利用することで、利用者がインターネットバンキングの ID、パスワードなどの認証情報を FinTech サービス上に登録することなく、預金口座残高や入出金明細などのデータを FinTech サービス企業とセキュアにやりとりすることが可能になります。

近年、個人の複数の口座残高やポイントなどを一元管理できる個人資産管理サービスや、企業の財務・会計業務を支援するクラウド会計サービスなど、FinTech サービスの普及が進展しています。こうした中、金融機関が保有する口座データと FinTech サービスをセキュアに連携させたいというニーズが高まっています。

これまで、口座データと FinTech サービスの連携は、主に金融機関のインターネットバンキングサービスの Web ページを読み取って必要な情報を抽出する Web スクレイピング方式^{*3}により行われていました。しかし、Web スクレイピング方式では、利用者がインターネットバンキングサービス用の ID、パスワードなどの認証情報を FinTech サービス上に登録する必要があるため、セキュリティ面での課題がありました。また、インターネットバンキングシステムから FinTech サービスに転送するデータ量が増大し、システムへの負荷がかかるほか、FinTech サービス企業ではインターネットバンキングサービスの画面仕様の変更されるたびに、一時的にデータ連携が停止したりメンテナンス作業が必要になるなど、多くの課題がありました。

本サービスでは、認証情報を FinTech サービスに登録する必要がないため、金融機関は利用者が安心してサービスを利用できるセキュアなデータ連携機能を提供できるようになります。金融機関と FinTech サービス企業の間では、FinTech サービスの利用に必要なデータのみをやりとりするため、インターネットバンキングシステムへの負荷を軽減できます。さらに、インターネットバンキングの画面仕様の変更に伴う、FinTech サービス企業側でのメンテナンス作業が不要になるため、データ連携が停止することなく継続的に機能提供することが可能です。

なお、本サービスでは、国内の金融機関向けの「銀行 API 連携サービス」と、日立が提供するインターネットバンキング共同センタサービス「FINEMAX(ファインマックス)」に加盟する金融機関向けの「FINEMAX API 連携サービス」を提供します。「銀行 API 連携サービス」では、普通預金口座の口座情報の、「FINEMAX API 連携サービス」では、インターネットバンキングの契約者 ID にひもづく普通預金、定期預金、外貨預金などの口座情報の参照を可能にします。

日立は、先端的な IT を活用した新たな金融サービスを提供する金融 IT イノベーション事業に注力して

おり、本サービスもその一環として提供開始するものです。今後も、金融分野における API の普及と標準化に貢献するとともに、FinTech サービス企業との連携の拡大を進め、業種・業界の垣根を超えたサービス連携によるオープンイノベーション*4を支援していきます。

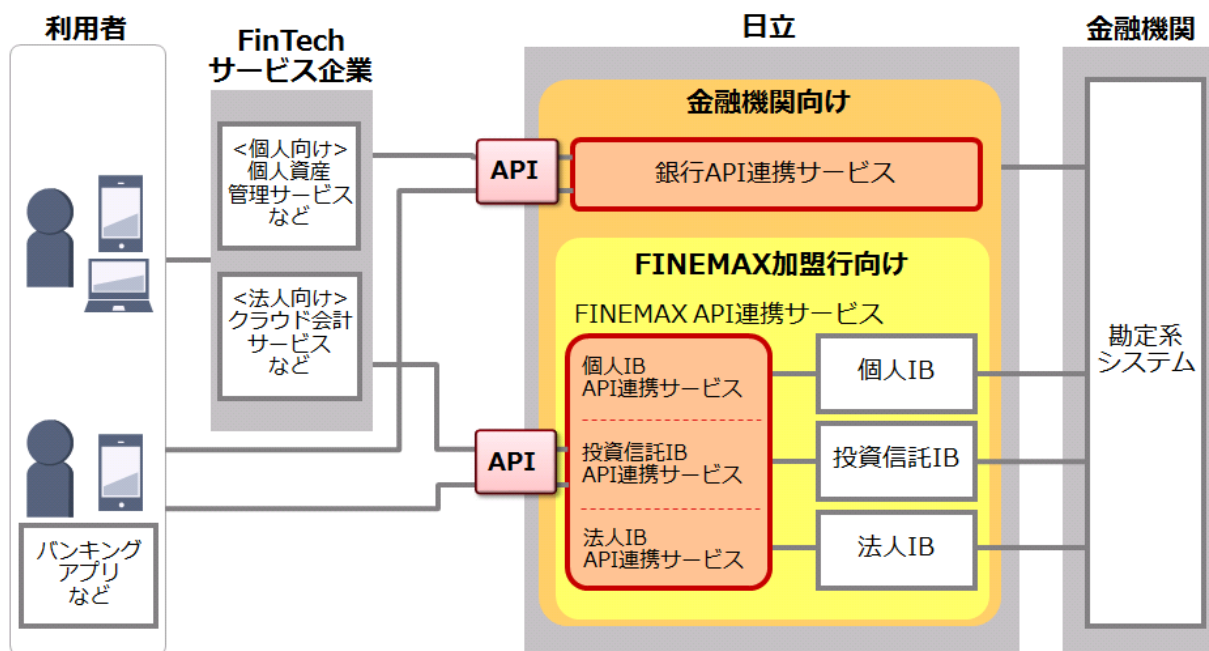
*1 FinTech:フィンテック。Finance(金融)と Technology(技術)を組み合わせた造語。最先端の IT を駆使した革新的な金融サービスやそれらを創出するための活動。

*2 API:Application Programming Interface。ソフトウェアの機能や管理するデータを、外部のソフトウェアから呼び出して利用するための手順やデータ形式を定めたもの。

*3 Web ページの HTML データを解析し、データの抽出や加工を施すことで、必要なデータを収集する手法。

*4 組織の外部から技術、サービス、アイデアを取り込むことで、新たな価値を創り出す考え方。

■「金融 API 連携サービス」の概要図



IB: Internet Banking

■「金融 API 連携サービス」の提供開始時期と価格

名称	提供開始時期	価格	
銀行 API 連携サービス	2017年2月	個別見積	
FINEMAX API 連携サービス*5	個人 IB API 連携サービス		2017年2月
	投資信託 IB API 連携サービス		2017年2月
	法人 IB API 連携サービス		2017年3月

*5 ご利用には、FINEMAX のご契約が前提となります。

■商標に関する表示

・記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融ビジネスユニット 金融システム営業統括本部 [担当:小崎、中村]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

お問い合わせフォーム:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
